

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カラーズFC鳥栖		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日 ～ 2024年 12月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日 ～ 2024年 12月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ヒヤリハットの事業所内での共有	・毎日朝礼の際に、報告会を行うようにしている。また、専用のファイルを作成し、事業所内で閲覧が出来るようにしており正社員だけでなく、パートの方たちにも共有が出来るように工夫をしている。読んでもらうだけでなく、口頭での申し送りなども意識するようにしている。	・些細なことでも、気づきになれるように報告を細やかにすること。また、なんでも話しやすい風通しの良い職場環境づくりをしていく。スタッフ間でのコミュニケーションを図れるように会社でアクティビティ研修などで、一緒に身体を動かす機会を設けている。
2	・活動プログラムの柔軟性	・基本的には身体を動かす活動を行っている。 ・様々なスポーツを取り入れている ・グループワークを通して、全体への発表などを行う機会を設けている。 ・雨などで、身体を動かすスペースが足りない時などは、ボードゲームなどを用いて脳トレを行っている。	・スタッフ一人一人の知識やアドリブ力の強化 ・子供たちからのアイディアの採用などを進めていく
3	・日々の支援の記録や報告が保護者や相談員にできている。	・システムを導入し、保護者にも説明を行い分からない家庭には個別で訪問して直接指導を行っている。 ・月に1回は報告書をまとめて、相談員への情報共有を行っている。 ・送迎時に保護者への申し送りをを行い、不在時は電話対応等を行っている。	・システムを導入しているが、保護者が中々目を通してくれないこともあるので、内容の充実化や意識改革などが出来ればと考えている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・就学前や学校卒業時など移行する際の関係機関との連携	・就学前の情報はほとんどが、家族か相談員からで、保育園や幼稚園などから直接の困り感やどのような支援を行っていたかがわからない所が多い。 ・卒業時も一緒に、こちらから情報を提供して終わり。ということが多い。	・地域のこども部会の中で、横のつながりを深くしていく必要を感じている。 ・関係機関との連携のために訪問を行う。
2			
3			